ハイナイト
プレイヤー・レター

2024年のビジョン

2024 3 月号

神の戦いに生きる ～祈りと賛美によって～

「あなたがたはこのおびただしい大軍のゆえに恐れてはならない。気落ちしてはならない。この戦いはあなたがたの戦いではなく、神の戦いであるから」
（II 歴代 20:15）新改訳第三版

1. 抑圧されたガザ市民の教育を覚えて

ガザ地区で、国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)が運営する学校は288校あり、約30万人の子どもたちが学んでいます。ホームページには「UNRWAの学校は、ガザの多くの子どもたちにとって、子どもらしく学び、成長し、遊び、友達をつくり、野外活動できる数少ない場所となっています」とあります。しかし、残念ながらこの言葉とは、ほど遠い事実が明らかになっています。

イスラエルのガザ地上戦が進む中、UNRWA運営校では、無数の銃やロケット弾などの武器、また、地下トンネルへの坑道が見つかりました。ハマスが学校を軍事利用し、学び舎として適さない環境にあることは明らかです。また1月末には、UNRWAの職員12名が10月7日のハマスのテロ攻撃に、直接参加したことが判明し、日本を含め多くの支援国はUNRWAへの支援を一時停止しました。その後、イスラエルの国防大臣はUNRWA職員1万3千人のうち1468人がハマス、イスラム聖戦いずれかのテロ組織で活動中だと発表しました。さらにUNRWA本部の真下、深さ18mで発見された地下トンネルには、ハマスの情報センターがつくられ、UNRWA本部から電気が供給されていたことも明らかになりました。UNRWAとハマスとの協力関係は、以前からイスラエルが指摘してきた通りです。

しかし、より深刻と言えるのは教育内容です。UNRWAの学校で使用されているパレスチナ自治政府作成の教科書は、反ユダヤ的でテロへの扇動にあふれています。「我々はユダヤ人を殺して故郷を解放しなければならない」。自爆テロリストを美化する内容もあります。UNRWAのみならず、ガザの人々は家庭や学校、社会で、ユダヤ人への憎しみを幼いころからたたき込まれます。10月7日のテロで、イスラエルに侵入して、10人を殺したテロリストは、自らが殺した女性の携帯電話を使って、両親に電話をしました。「お父さん、見て！僕はユダヤ人10人殺したよ！」。すると父親は「息子よ。神の祝福があるように」。母親は「私もその場所にいたかった」と答えました。こうして、長年積み重ねられた憎悪教育が、未来のテロリストを生んでいます。

一方、こうした教育を望まない人々もいます。あるインタビューに答えた女性はこう語っています。「私の子どもには英語が学べる学校に行かせたい。だけど学費が高すぎる。ハマスの学校では、殉教を教えているから、子どもに洗脳教育を受けさせたくない」。しかし抑圧された社会で、このような声を上げることは、ほぼ不可能です。

こうした事実は、アルジャジーラを始めとするアラブ系メディアから世界に伝えられることはまずありません。こうした抑圧された環境下にあっても、ガザの人々に真の主との出会いが与えられ、憎しみからの解放が与えられるように、そして、イスラエルの人々の上に主の平和があるように祈りましょう。

©Ashernet
ガザの幼稚園卒業式

神は、私たちを暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。（コロサイ1:13）新改訳第三版

❶ユダヤ人を憎む教育がパレスチナから無くなり、憎しみと死を尊ぶ教育から愛と命を尊ぶ教育に変わっていくように。

❷テロリストの圧政下で、犠牲となってきたガザの人々に、奇跡的な主の救いがあるように。ふさわしい援助が受けられるように。

❸テロや戦争で愛する人を失ったイスラエル・パレスチナ双方の人々に、主の平和と癒やしがあるように。

2. 日本在住のユダヤ人を覚えて

日本在住のユダヤ人は、約1千人。戦争勃発以降、日本でも反イスラエルデモが連日のように行われ、昨年11月には、イスラエル大使館近くに車が突っ込む事件も起きています。

一方イスラエルは、自国が厳しい中にあっても日本への支援を忘れません。イスラエル政府は2月、キリスト教系の支援団体を通じて、能登半島へ支援物資を送りました。日本においてもクリスチャンとユダヤ人の関係は強化されています。一方、こうしたイスラエルの支援活動さえ誹謗中傷する日本人もいます。

日本に20年以上住むユダヤ人女性に、今、何を思うのか、お話を伺いました。「10月7日以降、元気はどこかへ行ってしまい、心痛む毎日です。私自身反ユダヤ主義は経験していませんが、友人がイスラエル人だと分かる服を着て渋谷に行ったら、若い男性にからまれ、怖い思いをしたそうです。日本の報道番組で、中東専門家が『ハマスは人質を人道的に扱っている』と発言したことにも失望しました。祈ってもらえて、ありがたいです。皆さんが声を上げ、イスラエルを理解する人々の輪を広げてもらえたらと願っています」

シオンのために、わたしは黙っていない。エルサレムのために沈黙はしない。その義が明るく光を放ち、その救いが、たいまつのように燃えるまでは。（イザヤ62:1）

❶日本に住むユダヤ人の方々が反ユダヤ主義から守られるように。
❷イスラエルのために祈り、愛する人々の輪が日本国内で広がっていくように。
❸正しいイスラエル情報を発信している人々の働きが祝福され、拡大していくように。

3. 戦時下のキッズ・プログラムの子どもたちを覚えて

BFPでは、イスラエル国内の4つの町の11の学校と連携して、給食や学用品など子どもたちの学校生活を応援しています。昨年10月に始まった戦争は、子どもたちの生活にも影響を与えています。キッズ・プログラム担当の岸本麗美さんの報告です。

映像はこちら ▸▸▸
https://youtu.be/17j-IH0dSFM

Photo: Reimi Kishimoto/Bridgesforpeace.com
子どもたちが、愛を受け取り、成長し、家族や国の祝福となれるように!

あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、それも最も小さい者たちの一人にしたことは、わたしにしたのです。』（マタイ25:40）

❶子どもたちの心が守られて、勉学が祝福されるように。特に親が戦争に出ている家庭と子どもたちの心が守られるように。
❷BFPからの支援を通じて、子どもたちが愛されていることを知り、家族とイスラエル社会に祝福をもたらす存在として成長できるように。
❸キッズ・プログラムの支援者が増え、より多くの子どもたちに支援の手を差し伸べることができるように。

「ハイナイトソング」
視聴・譜面のダウンロード ▸▸▸
https://www.bfpj.org/music/

「ハイメール通信」
祈りの第一声として
祈祷課題をお届けします（不定期）▸▸▸
https://www.bfpj.org/pray/chaimail/form/

特定非営利活動法人 **B.F.P.Japan**（ブリッジス・フォー・ピース）
〒182-0001 東京都調布市緑ケ丘2-40-22 TEL:03-5969-9656 FAX:03-5969-9657 URL: www.bfpj.org
ハイナイトに関するお問い合わせ:chainight@bfpj.org